

令和5年度高知県立宿毛工業高等学校

第1回学校運営協議会 議事録

2023.8.29 16:00

宿毛工業高等学校 会議室

【参加者（協議会委員）】

武政 登：大方あかつき館・館長（宿毛工業同窓会長） 上岡 千夏：（宿毛工業 PTA 会長）
安岡 未佳：（宿毛工業 PTA 役員） 大塚 猛：（宿毛工業 PTA 役員）
西岡 美緒：（宿毛工業スクールカウンセラー） 当日欠席 中福 智子：宿毛市役所 企画課
浜田 勇真：宿毛市立東中学校・教諭 兼松 尚子：四万十市立中村西中学校・教頭 当日欠席
松村 貴志：宿毛市青年会議所・理事長 当日欠席

【参加者（宿毛工業教職員）】

中野 達也（校長） 西山 太彩（教頭） 岡本 真紀（事務長）
森 裕嗣（教務部長） 河原 正委（生徒指導部長） 畠中 晶代（進路指導部長）
中脇 周司（生徒サポート部長） 山崎 桂（総務部長） 松田 慎二郎（総務部・議事録）

【開会】（西山教頭）：開会宣言、配布資料確認

【校長挨拶】（中野校長）：会の発足経緯、主旨説明。学校の状況についての報告。

【辞令交付】（西山教頭）：濱田、松村、西岡、3名に辞令書類を確認して頂き、委員一人ずつ名前を読み上げ立礼により挨拶。

【自己紹介】（西山教頭）：武政（同窓会長）・上岡（PTA 会長）・安岡（PTA 役員）・大塚（PTA 役員）・松村（宿毛市青年会議所）・浜田（東中教諭）・中野（学校長）・岡本（事務長）・西岡（宿毛工業 SC）・中福（宿毛市企画課）・西山（教頭）・森（教務部長）・河原（生徒指導部長）・畠中（進路指導部長）・中脇（生徒サポート部長）・山崎（総務部長）・松田（総務部）の順で自己紹介

【会長・副会長の選出】：西山教頭

立候補・推薦を促す。立候補無しの為、運営より会長に武政登氏、副会長に上岡千夏氏を推薦。一同拍手により承認される。

会長・副会長がそれぞれ席を移動し、就任挨拶。

【議事】

令和5年度 学校経営計画について（説明：中野校長）

宿毛工業としての第3期高知県教育振興基本計画を踏まえ、目指す学校像（大前提として）「就職して、

しっかり働ける人づくり。進学して、しっかり学べる人づくり」を目指す。そのうえで目指す生徒像が「主体性を持って希望進路を実現していく生徒」であり、具体的に「学ぶ」：お勉強だけでなく、本校では実習も含まれる。「行動する」：思春期の生徒を預かるが、現状これはという問題は起きていない。正しい判断のできる生徒に。「繋がる」：いろんな人の相手の個性や性格、人格を認めあえることで人とつながる生徒。

学校としてそれを実現するための取組。(1) 基礎学力の定着と学力の向上、(2) 生徒指導・進路指導の充実(3) 豊かな心を育む教育の推進(4) ICT 機器を活用した教育活動の推進(5) 資格取得の推進(6) ものづくりを通して技術・技能の習得(7) 部活動の振興(体育クラブ13、文化クラブ11を設置している。)について説明。

重点項目 生徒に対する取り組み項目として学力向上、社会性の育成についての説明。

チーム学校 教職員が取り組む項目について(授業改善、生徒理解・生徒支援、学校の振興、産業教育の充実、働き方改革)について説明。

ここまでで、質問を受け付ける。

【委員】勉強時間について質問。

【学校】年2回の基礎力診断テストのアンケートでの数字。生徒によっては放課後の補修時間を入れていない生徒もいる。

【委員】時間外労働について質問。対応をされているとは思いますが、どのくらい減りましたか？また、成果は？

【学校】令和2年度からの取り組みで会議時間の短縮、デジタル化による印刷業務の軽減、部活動を複数顧問で行うことで負担軽減を行っている。

【学校】こちらからの質問。教員の残業について働き方改革について企業などでは、どのような取り組みをされているかを質問。

【委員】職場の皆さんへ、定時で帰宅をしていただいている。別の会社では休日を設定していると聞く。その他人員の増員。

【委員】中学校では採点・添削業務を支援員に手伝ってもらっている。時間を作ることが難しい。

【委員】働き方改革という言葉は美しい言葉だが、実際介護や育児を伴うとどうしても他の人を雇わないといけない。なかなか難しい。

【学校】教員として少しでも生徒との時間を確保したい思いがあるが、勤務時間のことを考えると…何ともならないが、何とかしたい。

【委員】中学校は小学校に比べると授業時数は少ないが週 23 時間ほど、8 時間の空き時間で授業準備や資料作成、それらが終わると放課後は部活動となると、残業は月 80 時間を超えることもある。この現状を広く知ってもらい、策を講じないと…

【委員】学校は書類作成だけでもかなり時間を使うと聞きますが。

【学校】アンケートや提出書類は本当に多い。簡略化の手立てがあれば…とにかくアンケートは多い。

【委員】時間削減のためのデジタル化だと思いますが…

【学校】個人的には、ICT 化で業務の処理が速くなるのは事実。高知県教育委員会は 10 数の課があり、そこからいろんな調査が一斉にくるので、それらの回答を即送ることでスムーズになっていると思う。

【委員】たくさん来るアンケートを今後どうするかというアンケートはないのか？（笑）

【委員】働き方改革はなかなか難しい。介護職で、どうしても人の手がいる職種だが、子供のいる家庭の人のフォローには独身者が入ることがあり。悪循環。

【委員】役場勤務だが職員定数があり、人員削減によりこれまで減らされてきた。IT 化で業務はスムーズになってきたと思うが、業務の量は減っていない。一人が何役もこなさないといけなくなった。働き方改革はなかなか進まない。臨時職員を雇いたい予算のことから難しい。学校では特に部活動が大変だと思うが、外部指導者を入れるなどは、どのようにしているか？

【学校】種目によっては該当指導者がいないことも多く、進んでいない。

【委員】一通り意見は出たようだが。

【学校】資料の補足説明。オリジナルアンケートの資料も目を通しておいてほしい。

（西山教頭）：次回についての説明

【閉会】（西山教頭）：閉会を宣言

閉会時刻 17 時 30 頃（約 1 時間 30 分の会）

令和 5 年度高知県立宿毛工業高等学校

第 2 回学校運営協議会 議事録

2024.3.15 16:00

宿毛工業高等学校 会議室

【参加者（協議会委員）】

武政 登：大方あかつき館・館長（宿毛工業同窓会長） 上岡 千夏：（宿毛工業 PTA 会長）
安岡 未佳：（宿毛工業 PTA 役員） 大塚 猛：（宿毛工業 PTA 役員） 当日欠席
西岡 美緒：（宿毛工業スクールカウンセラー） 当日欠席 中福 智子：宿毛市役所 企画課
浜田 勇真：宿毛市立東中学校・教諭 兼松 尚子：四万十市立中村西中学校・教頭
松村 貴志：宿毛市青年会議所・理事長

【参加者（宿毛工業教職員）】

中野 達也（校長） 西山 太彩（教頭） 岡本 真紀（事務長）
森 裕嗣（教務部長） 河原 正委（生徒指導部長） 畠中 晶代（進路指導部長）
中脇 周司（生徒サポート部長） 当日欠席 山崎 桂（総務部長）
吉岡 利泰（総務部・議事録） 松田慎二郎（総務部・議事録）

【開会】（西山教頭）：開会宣言、議事録用録音の許可を問う、配布資料確認

【校長挨拶】（中野校長）： 本日の議事について簡単に説明。本校の今年度の様子を説明。

【自己紹介】（西山教頭）：前回から日が空き、前回参加されなかった方もいるので自己紹介

武政（同窓会長・本会会長）・上岡（PTA 会長）・中福（宿毛市企画課）・松村（宿毛市青年会議所）
安岡（PTA 役員）・兼松（中村西中教頭）・浜田（東中教諭）・中野（学校長）・西山（教頭）
岡本（事務長）・森（教務部長）・河原（生徒指導部長）・畠中（進路指導部長）・山崎（総務部長）
松田（総務部）・吉岡（総務部）の順で自己紹介

【議事】 司会進行は武政（会長）

（1）令和 5 年度 学校評価アンケートについて（説明：西山教頭）

令和 4 年度より WEB アンケート方式としたことで回答の集計作業ははやくなった。生徒の回答率は前年度から下がった。保護者の回答率は前年度の本会において回答率の低さを相談し、対応したことで回答率が上昇した。

アンケート結果について各データの集計表記について説明。細かいデータの説明は事前に資料配布し、目を通した上で参加して頂いている為省略。全体の結果考察のみ説明。全設問における肯定的回答の前年度比は生徒・保護者・教職員全てにおいて微増している。

学校運営カテゴリーについて、生徒の回答では肯定的な意見が多いことは確かではあるが、少なくとも

否定的な意見を持った生徒たちに支援をしていかなければならない。

生徒指導カテゴリーについて、髪型等や制服等についても生徒会を中心に時代に合った校則の見直しなどを進めており、生徒の肯定的意見も増加している。（河原生徒指導部長からの補足説明も有り）

進路指導カテゴリーについて、保護者の肯定的意見は64%と低い。「わからない」という回答が多い。とはいえ否定的意見もあるので更なる情報発信が必要である。学校生活・進路についての家庭での会話については教職員の肯定的意見が少ない。進路指導について、保護者と教職員の感じ方の差があるように感じられる。

人権教育カテゴリーについて、生徒の悩み事に対しての相談体制についてはスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等にも来ていただいております、支援していく。

特別活動カテゴリーについて、部活動については熱心に取り組んでいるが、加入率は減少している。

教育重点目標：基礎学力の定着と家庭学習の習慣カテゴリーについて、分かりやすい授業に向け授業評価システムなどは行っており、一層研鑽していく。家庭学習については、タブレット端末も本校では自宅への持ち帰りも可能であり、有効に活用していきたい。

教育重点目標：資格取得カテゴリーについては書いてある通り。

教育重点目標：交通安全教育カテゴリーについて、回答は肯定的意見が高いが違反件数は前年度に比べて増えてしまっている。

（2）令和5年度 学校経営計画・学校評価等について（説明：中野校長）

第1回場で学校経営計画については説明をさせていただいた。今回はそれに対しての学校評価についてを説明する。

《学校関係者評価》

「学力の向上」「社会性の育成」「チーム学校」の3観点を、先ほどの学校評価アンケート結果より考察し表記している。

《重点項目》

「学力向上」については数値目標を掲げたが未達成のものが3つある。現実なので受け止めて対応していきたい。最近では提出物の未提出をする生徒が増えているようである。

「社会性の育成」については、「部活動加入率」については未達成。強制はできないのでなるべく声掛けをしていきたい。

《チーム学校》

「授業改善」は観点別評価Ⅲについて、タブレットを活用し、生徒も教職員もお互いに楽しめる授業を研究したい。

「生徒理解・生徒支援」は休学者が出ており未達成。学校評価アンケートの評価目標は未達成。生徒の見守り活動の強化拡大を図る。

「学校の振興」は卒業時の進路決定率は未達成、1名未決定者がいる。

「産業教育の充実」は卒業時の進路決定率・国家資格の取得率は未達成。8割の目標は高いが概ね7割にまでは来ており今後も努力する。

「働き方改革」は未達成の部分がある。どうしても資格や発表会、部活動の大会などの繁忙期があるので難しいところがある。業務の分担についての配慮、休暇の取得等対応していきたい。

県立高等学校の在り方について県からの県立高等学校の在り方についてのアンケート結果が返ってきたので紹介。高校選択の決め手は、学科・コースの内容、進学・就職の実績、資格取得への対応状況の3点がウエイトが大きいのが生徒の答えであり、保護者も同様であった。やはりそこを強化していきたい。

生徒自身が高校で身に着けたい力は、基礎的・基本的な知識や技能の充実。就職に必要な知識・技能・ビジネスマナー。一般（社会）常識。良好な人間関係を築く力。がウエイトが高く、多様な生徒が居る中で良好な人間関係を作る力を求めるようになってきたことが伺える。保護者が生徒に高校で身に付けて欲しい力は最初の3つは生徒と同様で、4つ目に様々な環境に適應する力というのが入ってくる。世の中が大きく変動する中で、それに対応していける力を付けてもらいたいという願いがあるようである。

（3）質疑応答（司会：武政会長）

【委員】学校評価アンケートのまとめについて、回答として「わからない」という答えが多く出ていたのは、学校の中の事家庭の中の事、しっかりと状況がつかめていない状態なので、「わからない」以外の回答についてもなんとなく付けた可能性も出てくる。そうすると設問に対しての回答の信憑性も疑わしくなるので、「わからない」が多い設問に対しては保護者に対してその部分の情報提供をしっかりと対応する、もしくは設問自体の見直しも必要ではないでしょうか。

【委員】逆に「わからない」を選ばなかった人はどうして選べたのでしょうか？

【学校】過去には「わからない」という選択肢を外したこともあったが、それこそ評価の信ぴょう性が薄まるので再度つけている。

【学校】「わからない」の背景には、学校が発信している紙文書が保護者に届かないご家庭があるのも事実。現在利用している「スグール」の活用など、保護者への情報提供を次年度充実させたい。

【委員】確かに過去には「わからない」という項目を選択していた。高校生となると家庭でなかなか子どもと話が来ていない背景もあるかと思います。答えられる保護者は割と家庭で子どもが話をしてくれる部分もあるかと思います。

【学校】卒業を祝う会についても、子供から聞いておらず急遽参加した保護者もいらっしゃいました。

【学校】学校評価アンケート部活動加入率について「54%」は誤りで「57%」に訂正をお願いします。部活動の57%は運動部活動としての数です。本校には専門科の内容を行う文化部もあり、それらを含めると70%を超えています。

【委員】頭髪について、アンケート等で厳しいと言われることがあるが実際みなさんはどう思われるか？

【委員】美容師から聞いた話だが、生徒によって髪が浮く子も居れば落ちる子もいるので、浮く子に対して押さえつけて宿毛工業がチェックするのはそれはおかしいのではないかと思うと言っていた。

【学校】最近は髪を押さえたまではしていないと思うが再度確認しておきます。またご意見をお聞かせください。

【委員】色については、親戚の子で地毛が茶色い子に対して先生から黒く染めるように言われたとも聞いたがそれはやりすぎかなと思う。

【学校】地毛についてはそのような指導はしないようにしております。ただ、その子も一度染色してしまうと、継続して指導していくことになるので注意してもらいたと思います。

【委員】中学校もその波は来ている。中学校の出口は高校なので、「高校受験にその髪型で行けるのか」という指導が出来ていたのが、今はそうもいかない。現任校は生徒会主導で細かい校則を無くし生徒心得に変更した。細かい髪の長さの指定や男女の別も無くし、生徒たちが判断するようになったが、現在のところ生徒は割と保守的で奇抜な服装・頭髪は出てきていません。学ランも着なくても構わないようになっておりカッターシャツにカーディンガンだけの生徒もいます。式典は学ラン着用です。ズボンを履きたい女子生徒の希望がありますがまだ対応しておらず、女子はセーラー服しかなく今後選択できるように考えています。

【学校】女子がズボンを履きたい。の逆のパターンはありますか。

【委員】そのパターンはなかなか言わないんだと思いますが今の所ありません。が、先日制服業者さんに来てもらった際に生徒会の男子生徒にスカート履いてもらって「こんな寒いがや」などの感想があった。制服業者に聞いても男子がスカートを履きたいという話は今の所聞かないとの事。ただ、女子は機能面など性的マイノリティ以外の視点でズボンを履きたい生徒は多いようです。

【学校】「校則」から「生徒心得」に変わったということですか？

【委員】生徒総会で生徒からも出だし、教員もそのように望み、何度も生徒と教員とで話し合い、秋ごろからそうになっている。「これはどうだろう？」という服装が出てきたらいきなり指導をするのではなく、生徒会などでどうだろう？とその時話し合いましょう。となっているが、そのような奇抜な格好は今のところなく話し合いになったことはありません。意外と生徒達は枠から出ないようです。

【委員】昔は「非行の始まりは髪の色が変わったら」と言われていたが、そうなる何が始まりになるのかも難しくなりますね。自分が生徒の頃は生徒部の先生は敵に見えていたが、今にして思えば交通事故を起こさずに済むのは厳しい指導のおかげだと思います。あの時指導されていなければ全てが台無しになっていたので、ありがたかったと痛感する。ぜひ必要な指導はしっかりして頂きたい。

【学校】交通指導については、今年違反件数として増えているので規範意識やマナーも含めて次年度の指導は充実していきたいと感じている。

【委員】休学者数1名について、現在の高校で1名は少ないように思うが理由はどうなのか？

【学校】義務教育段階から不登校の生徒であり、なかなか学校には来れなかった状態です。

【委員】どのような対応を？

【学校】カウンセラーも含めて家庭訪問は継続して行いました。最低でも月1回程度はおこなっております。休みだした当初はもっと行っていたと思います。

【委員】宿毛高校の保護者から聞くと、宿毛や幡多農は先生がインスタを挙げていて情報共有をしてくれているので学校の様子が分かるが、宿毛工業は無いので残念だね。と言われた。一応参考になればと思います。

【学校】学校の公式としてですか。

【委員】わかりません。

【学校】ちょっと調べてみたいと思います。

【委員】 いつも卒業した子たちがどこそこに就職決まったなどと報告してくれるので安心しています。
ありがとうございます。

《議事終了》

【学校】 本協議会の委員の任期について確認し、2年が経過したがなるだけ再任をお願いする。再任等今後の手続きについて説明。次回は8月予定

【閉会】（西山教頭）：閉会を宣言

閉会時刻 17時40分頃（約1時間40分の会）